

南白小の未来をえがく！

令和5年3月7日

府中市立南白糸台小学校

校長 西尾 克人

～子供たちの未来が明るくなるように～

第25号

3年「幸が森」…日本の伝統文化(お囃子)を学ぶ



府中にはお囃子の支部が25部あります。3年生が学習したのは、押立のお囃子です。軽快なリズムのお囃子に合わせて獅子が舞ったり、おかめやひよっこ(笑い面)が踊ったりしました。日本の伝統文化です。コロナ禍で止まっていた伝統文化のくらやみ祭りなども復活しそ

うです。南白小の「幸が森」は、自然ばかりでなく、地域に伝わる「伝統文化」、そしてそれを教える「人材」も幸が森です。地域の方が温かく支えている南白小です。子供も真剣にお囃子を聞いていました。

4年…算数「変化と量」

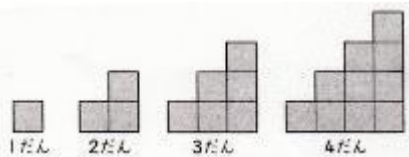
学習指導要領 解説 算数編より

「変化と関係」の領域の新設については、算数科で育成を目指す資質・能力の重要な事項に、**事象の変化や関係を捉えて問題解決に生かそうとすることがあり**、これが従前から「関数の考え」として重視されてきたことを踏まえている。

粘り強く考えていきます



4年生から、現学習指導要領で新設した内容です。5年生の割合、6年生の比例につながる学習です。二つの量の関係を表



| | | | |
|--------|------|------|-------|
| だん | 1 | 2 | 3 |
| まわりの長さ | 4 cm | 8 cm | 12 cm |

に表すことにより、その関係に気付き、文字の式で表します。順序だてて考えていく方法を学びます。

1辺1cmの正方形を図のように積みあげた時の段数と周りの長さとの関係です。子供は表を正しくかくと4の倍数になっていることに気付いていきます。 $4 \times \square = \bigcirc$ と式を導き出すことができました。粘り強く学習する子供たちに、成長を感じます。

2年…国語「作って！ といて！ 漢字クイズで楽しもう！」

漢字の覚え方

- ①読みながら覚える(聴覚優位の子供)
- ②部分に分けて覚える(視覚優位の子供)
- ③意味、成り立ちを考えて覚える など

「カンジーはかせ」の大発見は、漢字と漢字を合体させる機械を作ったことです。例えば「田+力=男」になります。人には様々な個性があり、読んで聞き取りながら覚える子供、部分に分けて覚える子供、漢字の意味や成り立ちで覚える子供など、タイプは様々あります。「クイズを作る」ということだけで

漢字の合体できる？



クイズ出し合う、楽しい

も、子供は楽しそうです。教科書の「今まで習った漢字」、漢字ドリルなどを見ながら、自分で考えていきました。次に3人グループでクイズの出し合いをしました。

楽しそうに学習する子供の姿を見ていると、よい学びは「楽しい」こと

が一つの条件だと思いました。いかに学ばせるか、教員の教材研究の一つの視点です。